

**米山奨学会委員会**

並木幸雄米山委員長

米山奨学生は国際理解と親善に寄与しようとする外国人留学生を支援するもので本年も世話クラブとしてその目的に沿えるよう活動したいと思えます。

本年は千葉大学生でネパールの男子学生のライ・ブワンくんであります。中村力三会員が引き続きカウンセラーをつとめていただきます。

2790地区の世話クラブは 84クラブ中 28クラブであります。これまでの支援学生は15,776人です。年間800人で民間奨学事業は日本最大であります。

**この事業は皆さん**からの寄付金で支えられています。10月の米山月間時には寄付金へのご理解 ご協力をよろしくお願いいたします。

この米山記念奨学会事業は1952年日本のロータリーの父 故米山梅吉氏の功績を記念して東京ロ・タリークラブが奨学事業の構想を立案したもので60年を迎えようとしています。

日本で学ぶ外国人留学生に対し 日本全国のロ・タリアンからの寄付金を財源として奨学金を支給し支援する民間最大の奨学財団です。

**2011年4月現在で約1万6000人**の留学生を支援しており これらの功績は国際ロータリー理事会からも賞賛されています。これまでの国別支援奨学生では中国が一番多く約30%

韓国の約24%

台湾の約20%の順となっています。

年間奨学生数は800人です。地区ごとの採用数は主に寄付額の全国比で決まります。

2790地区には28人です。

奨学金ですが課程により異なりまして当クラブのライ・ブワン君(奨学生)は修士・博士課程あり月額140,000円です。地区から課程修了までの最長2年間支給されます。

他の奨学団体と異なる特長ですが

世話クラブとカウンセラー制度ここでは「日本の心、ロータリーの心」を伝えます。

奨学生一人ひとりに対して 地域のロータリークラブが「世話クラブ」となり世話クラブの会員が「カウンセラー」として日常の相談役をつとめます。当クラブでは中村力三会員が長年 努めていただいております。ありがとうございます。

世話クラブの例会や地域奉仕活動に参加しロータリアンとの交流を通じて ロータリーが求める平和の心・奉仕の心を学んでもらいます。

日本最大の民間奨学事業で一年間に全国で約800人 年間14億円の支給額にのぼっております。選考試験も厳しく 日本語が堪能であること 特に勉学に意欲がある人等が選考となっております。現在では14億円割れも懸念されており 80億円の財源の利息を取り崩しております。

**10月は米山月間です**

当クラブでも寄付金を募ることになります。その節はよろしくご理解・ご協力をお願いいたします。これら寄付金には税の優遇も受けられますのでご協力を来月の例会日に集金させていただきます。私と中村会員と浅野会員の3名で行います。よろしくお願いいたします。

**「チャリティーコンサート開催」**

東日本大震災支援特別委員会

9月17日(土) 13:30  
「まつぼっくり」に於いて



ロータリーの実践倫理

「最もよく奉仕するものは、最もよく報われる」 He profits most who serves best.

《会報・IT・雑誌  
・広報委員会》

委員長：伊師 剛迪  
委員：平田 洋一

副委員長：大川 隆永  
委員：高崎 卓哉

財団BOX  
4,259円

WEEKLY REP  RT

国際ロータリー第2790地区第12分区  
松戸北ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012 国際ロータリー・テーマ

四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
- 1・真実かどうか
  - 2・みんなに公平か
  - 3・好意と友情を深めるか
  - 4・みんなのためになるかどうか

第1885回 例会 (第10週) 2011年 9月13日(火)

国際ロータリー会長カルヤン・パネルジー  
第2790地区ガバナー 山田修平  
第12分区ガバナー補佐 安井克一  
松戸北ロータリークラブ会長 鈴木悦朗  
松戸北ロータリークラブ幹事 児山守治

例会日 - 毎週火曜日12:30より(第1例会18:30)  
例会場 - 松戸市根木内249-7 北小金ポウル1F  
事務所 - 松戸市根木内249-7 榊山安内  
TEL/FAX - 047-344-5696 / 047-344-5696  
Web/Mail - www.rc2790-12.jp / kanji@rc2790-12.jp

## The Ideal of Service (奉仕の理想) にむけて夢を追いかけよう

会長 鈴木悦朗

当クラブの会員竹内能一さんが、9月11日の午前10時すぎに満87歳でご逝去されました。

先日、幹事の児山守治会員がお見舞いに行き、放射線の治療を受け、9月25日に退院されるということだっただけに突然の訃報に接し、心よりご哀悼いたします。

## 「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

カルヤン・パネルジーRI 会長の今年度のテーマです。インドらしい派手な色遣いだなと思いき、とっさにターバンをデザインしたのかなと思いましたが、しかし現実にはそうではなく、ハートのマークが次々と開いていく姿をアニメ化したものであり、まさに、「こころの中を見つめよう」のハートを表したデザインであることがわかりました。

今年度のテーマを東洋思考で解釈すると、仏教でいう四無量心すなわち、他人のことを思い遣る利他の心のことを表しているとも言えます。

慈：人をいつくしむ広いこころ

悲：人の悲しみを私の悲しみに

喜：我一人の喜びにあらず、全ての人の喜び  
私の喜び

捨：人に尽くしても見返りを求めない心

まさに Serves above self の世界です。今年度のテーマ・ロゴが「心」を表しているのは、パネルジー会長の心の中に四無量心という仏教的志向が浮かんだのかも知れません。パネルジー会長が尊敬しているピチャイ・ラタクル国際ロータリー2002-03年度パスト会長は、テーマに『慈愛の種を播きましよう』----あなたのクラブに、あなたの職場に、あなたの地域社会に、そして世界中ありとあらゆる場所に。でした。「どれだけ沢山の物を与えるかではない、大事なのはどれだけ満ち溢れる 慈愛をこめて与えるかです」とのマザー・テレサの言葉を引用され、我々ロータリアン一人一人の心の中に満ち溢れる「慈愛の心」を呼び起こしました。

私達が、「自分のクラブ」・「職場」・「地域社会」・「世界」・「青少年」という5つの畑に慈愛の種を播き続けることは、やがて小さな芽を吹き、大きな花へと成長し、必ず人道的奉仕という豊作が得られると述べられています。

この「慈愛の心」は仏教でいう「布施行」であり、そしてロータリーのいうところの「奉仕の理想」と思います。

**布施という言葉**は、お坊さんに差し出すお礼のことだと理解しておられる方がほとんどではないかと思えます。布施というのは、布施行と申しまして、他人に何かを差し出すことによって、自分に幸せが戻ってくるという仏教の教えをいいます。これは、財施と言って財物を差し出すことをいいますが、法施と言って他人に仏法を説き聞かせることや、無畏施と言って一切の衆生に畏怖(おそれ)の念を取りのぞく布施もあり、これを三施と言います。布施行はまた、僧俗の別なく私たちみんなが実践していかねばならない修行の一つであります。私たちは、それなりに、より良い社会の実現を目指してこの社会生活を形作っております。仏教では理想的な社会生活を目指す実践項目がいくつかが有り、その最も重要なものの一つが布施行であります。

では、施すべき財、説くべき教え、恐れを取り除く力がなければ布施の行ができないかということ、そうではないと言われていました。地位や財産がなくても、誰もがいつでも容易にできる布施の行、それが「無財の七施」です。「無財の七施」とは、次の七つの施しをいいます。

## 無財の七施

1. あたたかい眼差し(眼施)
2. にこやかな表情(和顔悦色施)
3. やさしい言葉・気持ちよいあいさつ  
(言辞施)
4. 精一杯のこころがけ(身施)
5. いつくしみ深いこころ(心施)
6. 人にあたたかい席を(床座施)
7. 気持ちよく迎える心(房舎施)

(次ページにつづく)

## 中村力三カウンセラー

米山奨学生のライ・ブワンくんは9月6日から9月8日までオランダのロッテルダムで学会がありました。その学会に出席してゲノム(遺伝子)に関する学問ですがその発表をされました。オランダへ行った感想をライ君にお話していただこうと思えます。

米山奨学生  
ライ・ブワンさん

皆様こんにちは!

9月分の奨学金 140,000円ありがとうございました。本日はいただきました。

先週の例会は出席できませんでした。その時に私はオランダに行っていました。オランダに行って研究発表をしてきました。

学会ではゲノムについて世界中で研究しどこまで進んでいるかを発表したりディスカッションして忙しい四日間を過ごしてまいりました。そこに参加できて大変に良かったと思えます。

オランダの街は日本と違ってレンガで出来た家が並びその間に水路がありボートで移動したりめずらしい風景でした。いまはチューリップの咲いている時期ではないのでチューリップの球根がお店に並んでいました。新しい経験ができてよかったです。これからも皆様のお陰でこれからもいい結果が出たら発表します。応援よろしく願いいたします。本当にありがとうございました。



## ニコニコBOX

家田真人会員

結婚記念日のお祝いの花束をありがとうございました。付き合い時代(結婚前)を通じて初めて花をプレゼントする事が出来夫婦共々感激しております。今後ともよろしく願います。

伝統仏教の「無財の七施」のこころがけは、まさしく人間が、思いやりのある共同生活をおくるためのこころがけであり、失われつつある日本人の品格ある無償のふるまいでありロータリーの Serves above self 超我の奉仕の心と重なる部分が多いと思えます。その心を持ちながら、職場で、クラブで、地域社会、あるいは国際社会で奉仕の理想にむかってロータリーの夢を追いかけようではありませんか。

さて、10月12日(水)午後2時から午後4時まで第12分区5クラブ合同の「ロータリー情報研究会」が開催されます。講師になかなか来ていただけない第2800地区パストガバナー藤川享胤氏をお迎えします。藤川氏のお話はわかりやすく、聞く人の心を揺り動かしてくれます。ロータリーとは何か目からうろこが落ちる方もでることでしょう。松戸商工会議所5階大ホールで開催いたしますので全員参加でお願いいたします。



## 幹事報告：児山守治

1. 千葉県共同募金会から義援金への協力へのお礼が届いて降ります。
2. 山田修平ガバナーより「クラブ活動計画書」送付のお礼が届いております。
3. 竹内能一会員が逝去されました。天国に召されて人懐っこい人の良さと幸せに暮らしていかれるでしょう。本日夜6時からお通夜があります 線香をたむけてお送りしたいと思います。故人の冥福をお祈りいたします。
4. ロータリー情報研究会は全員出席 お願いいたします。



## ロータリーの奉仕哲学「超我の奉仕」 Service above self

このServiceの意味は人のためにつくすこと。ビジネスでもServiceの心がけはシェルドンの言葉を借りれば「永続的な顧客を得る道」であり、信用を増して繁栄への道につながる。